

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

Vol.25 2019.4



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
http://konagayajunji.web.fc2.com/
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp
facebook

小長谷順二 検索

新年度を迎え、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成 31 年 第 1 回 伊豆市議会定例会は、平成 30 年度補正予算や平成 31 年度当初予算、条例の制定など多くの議案が上程され、本会議での質疑、委員会や連合審査を経て 3 月 22 日の本会議においてすべての議案は原案どおり可決されました。

昨年 11 月、「修善寺虹の郷」の指定管理者となっている市振興公社が、2019 年 3 月末をもって指定管理の継続を辞退する決定を受け、急遽、管理者の公募を行い、「シダックス大新東ヒューマンサービス」を指定管理者に決定しました。そして心配されていた駿河湾フェリーの存続も決定し、来年開催の「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」競技大会に向けた観光・産業振興や防災対策、地域の課題等に取り組んで参りますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成 31 年度伊豆市一般会計(当初予算総額 178 億 9,900 万円)主要事業【★新規事業 ☆拡充事業】

★内陸フロンティア企業誘致	1 億 7,099 万円
★自転車ネットワーク計画策定	6,000 万円
★牧之郷駅整備	4,024 万円
★松原公園津波避難複合施設整備	3,500 万円
★高齢者保健福祉計画策定	2,572 万円
★新中学校整備	1,000 万円

☆道の駅整備	3 億 7,750 万円
☆東京 2020 関連アクセス道路	3 億 6,200 万円
☆新こども園建設	7 億 840 万円
☆伊豆市産業振興協議会委託	2,304 万円
☆ひとり親等移住定住促進	1,504 万円
☆都市計画推進	1,330 万円

伊豆市地域振興基金条例の制定

合併特例債を活用し、市民の連携強化や地域振興等に要する経費の財源に充てるために設定し、現行の事業水準を維持し、将来に渡る安定的な財源確保を目的に、用途を地域振興事業に限定した地域振興基金 24 億円の創設を行うもので、その管理を適切に行うための条例制定です。この基金を活用し、次世代につなぐ各地域の取り組みが行われることを願っています。

国道 136 号 土肥峠工区Ⅱ期 里見橋開通式

国道 136 号土肥峠工区 2 期の 1・2 キロのうち、里見橋を含む 200 メートル区間が 3 月 23 日に開通しました。

約 1 キロ区間は、すでに昨年 12 月に開通し、昭和 61 年度(1986)から整備を進めてきた全線約 4・2 km(八木沢 2 km、土肥峠 2・2 km)の土肥拡幅が全て完成しました。

開通式には、テープカットと橋名板設置のセレモニーが行われ、橋名を執筆した、伊豆市立土肥小中一貫校 6 年の鈴木君、5 年の福室君がボルトを固定し、原沼津土木事務所長から感謝状を受け取り開通を祝いました。



里見橋 開通イベント

伊豆市の地酒で乾杯を広める条例制定(議員発議)

伊豆市には日本酒、ワイン、ビールの酒蔵が各 1 社ずつありひとつの市町に 3 種類の酒蔵を置く自治体は少なく、観光地伊豆市の地場産品として市内の地酒を PR することは市内外への宣伝効果は高く、地域振興の新たな手法として期待する理念型条例の制定です。伊豆市の地酒を特産品として国内外に情報発信出来ることに期待したいと思っています。

土肥お試し住宅 ～伊豆市移住をちょっとだけ体験～

移住相談者から要望があった“お試し住宅”がこの春オープンします。この事業は伊豆市移住定住促進事業の一環で、土肥地区水口にある旧官舎(2階建て 3DK×2連棟)を改修し、移住を検討している市外に住所を有している方を対象に 2泊3日～6泊7日、無料で宿泊することが出来ます。

(入退去日は土日・祝日と 12/26～1/5 は除く)

多くの皆様に、自然豊かな土肥のまちでの生活を体験していただき、移住・定住の促進につながる施設になっていただきたいと思います。
と願っています。



土肥お試し住宅

小長谷順二の一般質問（第1回定例会 平成31年3月11日）

1.ゲーム障害

Q 厚生労働省は、「ゲーム障害」についてWHO（世界保健機関）が昨年6月、新たな疾病として認定したことを受け、オンラインゲームなどのやりすぎで、日常生活が困難になる「ゲーム障害」について初の実態調査に乗り出すことを示したので、この疾病の当市の取り組み状況を伺います。

A ゲーム障害について学校現場から数名程度いるとの報告を受けています。特に心配しているのは不登校になっている子供の生活状況が確認できないことです。スマホの所有率も高学年になるほど高くなっており、ネット依存などの相談体制の充実を図っていきたくて考えています。また県はネット依存対策としてチェックリストを掲載したリーフレットを21万部作成し、学校等に配布して当事者、保護者等に障害の特徴や治療法を周知する計画となっています。

意見 ゲーム障害、これはもう現在起こっている問題です。疾病が児童・生徒、大人にまで及ぼす影響は、はかり知れないと思っていますので、専門家等と相談しながら、早急の実態調査を進め、対策を講じて頂きたいと願っています。



2.空き家対策の進捗状況

Q 総務省は今年1月、「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の法施行後、自治体を実施している空き家対策の現状について、空き家所有者の特定や代執行の実施などに多大な業務負担が生じ、苦慮している状況を明らかにしたので、当市の空き家対策の進捗状況を伺います。

A 危険空き家の件数はH27年度に調査を行い、当初は136件有りました。その後解体・撤去されたのが9件ですが、これは近隣住民に影響のある空き家の件数なので実際にはこの数十倍は有ると考えています。対策が必要とされている危険空き家は10件あり、今後も増えていくと考えています。空き家の苦情について、所有者に電話や書面等で管理のお願いをしていますが、難しい課題があり、今後も効果的な対応策を検討して行きたいと考えています。

意見 空き家の放置で起こり得るトラブルには、倒壊、破損、散乱、火災、犯罪の誘発、衛生の悪化、景観上の問題などがあります。また、自然災害があれば、差し迫った問題として直ちに顕在化するので、今後も施策の研究、問題解決に向けての取り組みを進めていただくよう願っています。



3.市長ミニ集会

Q ミニ集会の目的は、市長が市の方針や取り組みを地域住民に直接伝え、各地域の意見を聞き、地域の課題解決のために努めることです。今年度開催したミニ集会の感想や成果、そして地域から持ち帰った課題や意見を今後どのように市政運営反映していくのか伺います。

A 今年度実施したミニ集会是各地区で35回、728人の方にご参集賜りました。私から3中学校の将来像と新しいごみ焼却施設について財政の観点から説明をし、そのうえでいろいろなご意見を拝聴しましたが、合併特例債を全額返済するものと誤解されている方が数名おりましたので、引き続き説明を行う必要性を感じました。また各地区で共通して防災に対するご質問が多くありましたので、地域から頂いたご意見は担当課を通じてしっかり前に進めさせていただきます。

第24回

小長谷順二 市政報告会開催
平成31年4月16日（火）PM7時～
伊豆市土肥支所 4F 読書室

旧土肥小学校活用構想検討協議会長の芝浦工業大学 作山康教授が、協議事項をまとめた「活用構想」を菊地市長に提出し、次年度以降の展望を含め報告した概要が、回覧板で各戸配布されました。

地域のアイデアを生かしながら、住民が楽しく交流できる拠点の実現に向けてお試し活用を継続する予定となっています。報告会お待ちしております！